

## ＜白金標準、4439 円で高値が止まり 4300 円割れに注意・・・＞



(出所：オアシス)

FOMC や ECB 理事会、日銀金融政策決定会合のイベントが終了し、FOMC の「より高く、より長く」の印象に、ECB 理事会は利上げを行ないながら金利のピークの思惑が強まり、日銀金融政策決定会合では 2% のインフレ目標に向けて緩和策の継続を示唆しており、ドル高の印象が強まっている。特にユーロ圏製造業 PMI・速報値が 47.1 と前月から減少し、好不景気の分岐点である 50 を下回るなど、第 3 四半期にはマイナス成長のリスクが高まるなど、景気後退懸念も高まりを見せている。また全米自動車労働組合 (UAW) とビッグ 3 の労使交渉では、フォードと進展が見られたが、GM とステランティスでは進展もなく、UAW 委員長は GM とステランティスの約 38 の部品工場の施設でストライキを実施する事に言及するなど、サプライチェーンの混乱が予想される。特に白金標準先物は、中国の信用リスクは織り込まれながら 4460 円まで戻りを見せたが、週末には 4439 円で戻りが抑えられるなど、高値が止められている。そのため 4439 円を超える事が出来ないと 4312 円を再度試す可能性は高まると思え、飛び付き買いは避けながら下値模索には注意が必要と思える。

### ＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が切り上げながら、RCI は **短期** の上昇が止まり、**長期** は下げるなど目先の高値が止まる可能性が強まると見られ、**10 日移動平均線** が位置する 4306 円に向けた下値追いには注意したいと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引3,220,000円(2023年9月25日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復87,120円(2023年9月25日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>